

る立場から、天願川については未整備箇所の早期整備を行うよう、関係部署と連携を図りながら、河川管理者であります県と協議し、対応していきたいと考えております。



【台風による大雨で増水した天願川】

また、米軍機からの相次ぐ部品落下事故等については、米軍並びに沖縄防衛局へ再発防止や安全管理の徹底を強く要請するとともに、日米地位協定の抜本的な見直しの実現に向けて今後も県をはじめ、関係市町村と連携してまいります。

国内の経済情勢に目を向けますと、政府による経済政策により回復基調で推移してきたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や円安による輸入物価の上昇な

どの影響を受け、年度後半には実質GDP成長率がマイナスとなりましたが、年末に閣議決定された緊急経済対策などにより、引き続き緩やかに回復していく見込みとなっております。

政治の面では、12月に消費税率の引き上げ先送りを争点とした衆議院選挙が行われました。

引き続き政権を担う安倍総理には、積極的な経済政策の推進とともに沖縄振興にもご尽力いただきたいと思っております。

また、昨年11月の沖縄県知事選挙で誕生しました翁長雄志新知事には、沖縄県の均衡ある発展を目指し、国と連携した振興策の実施に取り組んでいただきたいと思います。

県内においては、昨年の入域観光客数が初めて700万人を超え過去最高を記録しました。

県では2021年度の入域観光客数1,000万人達成を目標に掲げており、今後も観光客数の増加が予想されることから、引き続き本市においても伝統文化・歴史・自然環境を活かした観光誘客の取り組みを推進してまいります。

平成27年度沖縄振興関連政府予算案においては、3,340億円の予算が措置され、本市の一括交付金配

分額は、17億5,300万円となっております。

本年度も引き続き、同交付金を活用した各種事業に取り組んでまいります。

昨年末に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による地方創生の取り組みや「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に伴う国の大型補正、「子ども・子育て支援新制度」への対応が求められております。

また、教育長と教育委員長の一本化や、首長が教育方針等を教育委員と話し合う「総合教育会議」を設置する改正法が本年度から施行されます。

これらの新制度に適切に対応するとともに、本市の課題解決に取り組んでまいります。

次に、予算の概要についてご説明いたします。

## 2. 平成27年度の予算規模

平成27年度の予算編成については、「うるま市総合計画・後期基本計画」及び「第11回実施計画」等を踏まえ、各施策の目標達成に取り組むとともに、「第2次行政改革大綱」に基づき行政改革の実施に努め、限

られた財源を効果的に活用するべく、枠配分方式を基本に予算編成を行っております。

その結果、本年度の一般会計予算は、528億640万2千円となり、前年度に比べ0.7%の増となっております。また、特別会計予算は、国民健康保険特別会計ほか4つの特別会計の合計額が333億6,954万8千円、公営企業の水道事業会計予算は、37億7,107万円となっております。

従いまして、本市の総予算規模は、一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた899億4,702万円となります。

## 3. 主要事業の概要

次に、平成27年度主要事業の概要について、総合計画に掲げた5つの基本目標に沿って説明いたします。

### 第1 「人と自然にやさしい基盤と環境を育てます」

島しょ地域の振興については、本市の重点施策として位置づけており、引き続き津堅・島おこし支援事業に取り組むとともに、学校跡利用について地域の意向を踏まえなが